

進路通信

伊丹市立天王寺川中学校第2学年
令和2年2月10日 第15号

～高校を探すために～

いよいよ4月から受験生です。どこの学校を受検(受験)しようと思っていますか?多くのご家庭が「今は具体的な志望校がない」という状況ではないでしょうか。どのようなステップを踏めば、志望校を見つけることができるのか?それは進路の情報を正確に多く持っているかどうかで大きな差が生まれます。そこで、各ご家庭で4月までに最初にしてほしいことが「高校の資料集め」です。生徒一人ひとり感じることや条件は異なります。残念ながら中学校から提供できる情報量には限界があり、物足りなく感じることがあると思います。そこで、どういった条件に該当する学校にお子さんを通わせたいのか、またはお子さんが通いたいと思うのかをピックアップして、各ご家庭でそれに該当する学校の資料を、成績はひとまず置いておき、ひたすら集めます。例えばお子さんに行かせたい、またはお子さんが行きたい学校の条件が、「制服がかわいい・バスケ部がある・大学への進学率が高い」の3つだったら、それらの条件に当てはまる高校を手あたり次第見つけ出していきます。そして最後にこれを偏差値順や気になる順に並べ替えることで、志望校を探すことができるようになるのです。行きたい条件を満たす学校の資料を集めたら、その中から少しでも興味ある学校をオープンスクールなど利用してどんどん見に行くようにしてください。そうして動くことで志望校が決まっていくと思います。今だからこそ落ち着いて資料を集めたり、学校を見学しに行けたりすると思いますので、よろしく願いいたします。

～質問に対する答え～ ※14号の続きになっております。ご了承ください。～

Q12.勉強が苦手な人にできる集中力がきれない勉強方法はありますか?

A12.勉強に関しては、取り組み方を工夫することで集中できるかもしれません。例えば平日の勉強(放課後)に関しては、3時間勉強する場合は1時間したら10分休憩するというサイクルを3回する。脳科学的には集中力は1時間が限界だから、1時間ごとに10分休憩入れることが良いそうです。また、よく休憩時間中にスマ

ホなど娯楽にはしる人もいますが、休憩中は原則「お手洗い」・「水分補給」・「姿勢を軽く崩す」だけにしましょう。スマホやテレビなど見ればモチベーションが下がったり、切り替えができなくなったりして集中力は戻らなくなります。また、勉強内容の組み合わせ方も工夫しましょう。脳の構造上の話で言えば、「暗記」「文章を読む」「計算」など、勉強する内容によって脳で使われている部分が違います。そこを理解した上で勉強内容を組み合わせます。例えば、「英語の単語を覚える」「社会の用語を覚える」「理科の計算問題」「数学の計算問題」「国語の長文読解」の順で勉強するのと、「英語の単語を覚える」「理科の計算問題」「国語の長文読解」「社会の用語を覚える」「数学の計算問題」の順で勉強するのではどちらが良いのか。脳の構造上、後者の方が疲れにくく効率が良いそうです。このように組み合わせ方を工夫することも大切です。他にも勉強する時間や場所も大切です。疑問に思う人はぜひ学習担当の坂本先生に質問してみましょう。

Q13.オープンスクールなどは何校も行って良いのでしょうか?

A13.何校参加してもらってもかまいません。むしろ多く参加することで行きたい学校や学校毎の違いなどがはっきりしてきます。ただし、友だちが行くから興味はないけど行くなど、遊び感覚で「行くつもりもない学校」のオープンスクールに参加することがないようにしてください。また、申し込みが必要な場合は、必ず申し込みをして参加してください。また、気分勝手に参加して高校などに迷惑を掛けないでください。

Q14.オープンスクールは部活のある日でも行って良いですか?

A14.オープンスクールと部活動が重なるケースがあると思いますが、その場合は必ず顧問の先生とできるだけ早い段階で事前に相談しましょう。基本は顧問の先生と相談して許可を得ていれば、部活動を休んでオープンスクールに参加してもかまいません。勝手に部活動を休んだり、直前に欠席することを顧問に伝えたりすると、大会や試合などの予定があって部員全員に迷惑をかける場合もあります。部活動は個人だけの活動ではないので、そのあたりをよく理解して、事前に予定を確認したり相談したりするなどの行動をしましょう。

壁というのは、できる人にしかやっこない。超えられる可能性がある人にしかやっこない。だから、壁がある時はチャンスだと思っている。 イチロー